



# ジュゴン Vol.100

## ちゃんぷるニュース

### SDCC 2018. 9. 25

Save the Dugong Campaign Center

## CONTENTS

- 2/3 埋立承認撤回と今後の展望
- ジュゴン訴訟結審
- 沖縄県知事選
- 4/5 8・11 沖縄県民大会他
- 各地の取り組み
- 6/7 コラム「平安座の海のシチの話」
- わんさか通信★ジュゴンのわ



名護市長選挙の後、渡具知候補に投票した人たちが、「こんなはずでは無かった」と、後悔しているという話を聞きました。先日行われた名護市議選では、名護市辺野古への新基地建設反対派が過半数を占めましたが、投票率が今までで最低の約65%に低下して、約5パーセントも少ない投票率でした。これは何を意味するのでしょうか。「民意」が、尊重されていたらこんなことにはならないでしょう。

仲井眞元知事は「基地は県外」として当選したにも関わらず、「民意」を無視し、辺野古新基地建設を容認・承認しました。「民意」は裏切られ、そこから、対立と分断が大きくなりました。「対立を煽り分断を仕組んだ」者たちを許してはなりません。民意を平気で裏切る者たちに沖縄は任せられません。

仲井眞元知事さえ公約を守っていれば、今の混乱は避けることができたはず。対立を煽り、分断を仕組んだ元凶は、仲井眞元知事です。責任を問われるべきは、仲井眞元知事でしょう。

# 民意を裏切らない県知事を！

翁長知事は「ウチナンチュが心を一つにしたとき、想像するよりはるかに大きな力になる」との言葉を残しています。

翁長知事は「辺野古への新基地建設は許さない」と、民意を守るべくあらゆる方法を模索しながら県政を進めてきましたが、残念ながら病に倒れてしまいました。最後の記者会見で、「新基地建設の工事状況は傍若無人だ」と批判して、承認の撤回を副知事に委ねました。厳しい健康状態の中で、政府からの恫喝を受けながらも、民意を尊重し、立派に公約を守り通しました。

もうすぐ、県知事選挙。翁長知事の遺志を受け継ぎ、民意を裏切らない知事を沖縄県民は選んでくれると、信じています。

生物多様性に優れた辺野古・大浦湾を、世界に誇る故郷の宝として残し続けることが出来るでしょう。

遠く離れた東京でも、翁長さんの声が聞こえる気がします。

マキテーナイピランドー チバラナヤーサイ！（負けてはなりません。頑張りましょう）

（首都圏 宮城詔子）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



8・11 県民大会で挨拶をする、翁長知事の次男で那覇市議の翁長雄治氏（4面）



ゲート前土曜大行動の後の琢磨さんとデニーさん(5面)

情勢

# 知事選勝利・埋立て承認撤回の闘いを広げよう！

## @沖縄県知事選挙が告示

9月13日の告示日に、翁長知事の遺志を受け継ぐ玉城デニー候補は、伊江島、辺野古、沖縄市、宜野湾市、那覇市を一気に駆け抜けました。米軍基地被害と闘う人々とともに沖縄県知事選挙を戦う決意を明らかにしました。対立候補の佐喜真氏は日本最大の右翼組織・日本会議の一員、幼児に教育勅語を「奉唱」させる集会で閉会の辞を述べた前宜野湾市長です。県民の6割が反対する辺野古移設について態度を明らかにしないのは当然のことです。

## @承認撤回で、埋め立て工事が中断

8月31日、沖縄県は辺野古埋め立て承認を撤回しました。最高裁判決をふまえて、仲井真元知事が行った「埋め立て承認」を沖縄県は認めましたが、沖縄防衛局が事前協議をせず一方的に埋め立て工事を始めるなど「承認の留意事項」を無視する違法行為を続けたからなのです。また、大浦湾側の軟弱地盤や地震を起こす活断層の存在など承認後に明らかになった問題。ジュゴンの餌場や希少種のサンゴの保全など環境保全対策の問題なども撤回の根拠になっています。政府は新基地建設を進める法的根拠を失い、海上工事を中断しています。

## @全国的な闘いを

政府は知事選挙の結果を見ながら、10月にも承認撤回の執行停止や取り消しなど法的な準備を進めています。2015年9月から16年12月までの承認取り消しの闘いを振り返りましょう。県の承認取り消し後、政府・国交省は執行停止などで1か月後に海上ボーリング調査を再開しました。その後、県は国地方係争処理委員会に申し立てるなど法廷で争い、3月に高裁の和解勧告を受け入れて、9ヶ月間工事が中止となりました。しかし、12月に最高裁が「(仲井真元知事の)判断過程や内容に不合理な点はない」「知事の裁量権は広い」と埋め立て承認は合法との判決を出し、工事が再開されました。

今回は翁長知事の承認撤回についての裁判であり、最高裁の論理からすれば「知事の裁量権は広い」はずです。だから、知事選挙で勝利し、承認撤回の闘いがより重要になります。米国ジュゴン訴訟も9月末に控訴する準備に入りました。8月1日サンフランシスコ地裁の判決はジュゴンCの行方不明などの新しい事実を無視する判決でした。県の承認撤回が遅れたことも敗因です。知事選挙に勝利し、承認撤回の闘いを広げ、ジュゴン訴訟に勝利しましょう。

(事務局 蛭川義章)

## 沖縄県知事選 玉城デニー候補を当選させよう

9月13日 沖縄県知事選挙が告示された。故翁長県知事が決断した辺野古埋め立て撤回を支持し、「誇りある豊かさ」の実現を掲げる玉城デニー候補と、自公維新などに支援され、辺野古には公式には一切触れない佐喜眞淳候補の事実上の一騎打ちである。

選挙の第1の争点は「辺野古新基地建設」の是非である。公開討論会でデニー候補は「撤回を支持し、あらゆる手段で辺野古新基地を阻止する。」と明言した。佐喜眞候補は普天間基地の被害と早期撤去を力説したが、辺野古は言及をさけた。デニー候補に「移設先は辺野古が唯一という政府の態度をどう考えるか？」と問われて「外交は政府の専権事項。自治体に出来ることは限界がある。」と辺野古容認を認めた。

先立つ名護市議会選挙では、野党が一人減らして13名となったが、与野党同数で新基地反対が市民の世論であることを改めてしめした。逆風のなかで与野党同数を実現した意味は大きい。

佐喜眞陣営は、自公の国会議員をはじめとする全国動員で企業回りなど、なりふりかまわぬ組織選挙をつよめている。ある公明党の国会議員は、企業の朝礼に参加し佐喜眞候補への支持を訴えたことを、Twitterで臆面もなく公表している。デニー候補は名誉棄損での告訴を表明したが、事実無根の



辺野古ゲート前テントでスピーチする玉城デニーさん

デマ宣伝がネット世界で拡散されている。

平和なアジアとの関係強化を通じて、観光や第1次産業を発展させ、「誇りある豊かさ」の実現を目指すデニー候補の政策を対話で有権者に伝え、一票一票を積み上げることが、勝利のためにぜひとも必要だ。

今、「撤回」によって工事は中断されフロートは撤去された。辺野古・大浦湾は青く美しい。投票日は9月30日。デニー候補の勝利のため、一人一人ができることをやろう。

(関西 松島 洋介)

# 差し戻しジュゴン訴訟の判決について

2018年8月1日、サンフランシスコ連邦地裁のエドワード・チェン裁判長は、差し戻しとなっていた「ジュゴン訴訟」において、原告の要求を退け、米国防総省の主張を全面的に認める判決を下しました。

判決は以下のようにまとめられます。1) 米国家歴史保存法 402 条のもと国防総省が 2014 年 4 月までに行った辺野古新基地建設によるジュゴンへの影響の「考慮の手続き」は適切であった。2) 「考慮の手続き」を踏まえて「基地建設はジュゴンに悪影響を与えない」とした国防総省の結論は恣意的あるいは専断的ではなかった。この判決により、原告が求めていた国防総省が「考慮の手続き」を完了するまでの工事の中止もなくなりました。

今回の訴訟では、新たに開示された国防総省の「行政記録」が鍵となりました。国防総省の専門家による日本の環境アセスの辛烈な批判など、多くの情報が原告に有利に働くことと期待されていました。一方、「行政記録」はあくまで 2014 年 4 月までの情報で、国防総省の「影響なし」の根拠となった情報であることへの懸念がありました。さらには、工事が強行され、埋立て承認の撤回がなされていないなど、原告にとって不利な状況でした。

判決文から裁判長の認識を示す象徴的な部分を紹介します。「地域コミュニティの意見は、日本の環境アセスで示されており、それを国防総省は検証した」。「国防総省が原告に「考慮の手続き」について知らせなかったことには当惑するが、国防総省に手続きの開始を求めなかった原告にも当惑

する」。「(環境アセスへの) 批判は文脈を無視している」「国防総省が分析を行うための情報は十分であった」「国防総省は与えられた状況のなかで十分検証した」。

注目すべきは、「行政記録」以外から唯一審理で考慮された翁長雄志知事の要請文に対する裁判長の見解です。「国防総省は県と協議をしていない」よって「協議を求める」とした知事の要請文を、「国防総省が県と協議をしていないとする原告の主張の唯一の証拠」としながらも、「翁長知事は「考慮の手続き」の終了後に知事となった」「(仲井眞) 前知事の見解は考慮されている」としています。

つまり、チェン裁判長の判決は、判断材料を「行政記録」に限定し、国防総省の裁量権に基づいた判断を全面的に認めたものでした。不確実な要素があり、外交や防衛に關係する難しい訴訟であるがゆえ、チェン裁判長は、「行政記録」に基づいて判断するという裁判の仕組みに、より厳密に従ったといえるかもしれません。また、結果的には、承認の撤回前に判決を出すことで、判断がより困難になることを避けることができたともいえます。

原告は、判決を不服とし、控訴することを決めています。今後は、翁長知事の遺志を受けて 8 月 31 日に行われた承認の撤回を、「行政記録」の縛りのある裁判のなかでどう反映させることができるかが鍵となるでしょう。そして、「行政記録」に縛られずに判断を行える米海洋哺乳類委員会や国家歴史保存諮問委員会への働きかけがより重要になるでしょう。

(国際担当 吉川秀樹)

## PHOTO 8.17 緊急海上大行動、辺野古の浜での連帯集会

PHOTO



辺野古の浜に現れた蝶

「蝶は、琉球の方言でハーバールと呼ばれ、死者の魂の化身と考えられ、転じて霊力を表わすともいわれます。」

那覇市歴史博物館 H.Pより

沖 縄

# 埋立て承認撤回！翁長知事の遺志を受け継いだ県民大会

8月11日、台風接近で雨が降りしきる中、オール沖縄主催の県民大会は7万人の参加で成功しました。「土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り、辺野古新基地建設断念を求める県民大会」は8月17日土砂投入予定を前に、また、8日翁長雄志知事の突然の逝去を受けたもので、「民意のうねり再興」(琉球新報)、「県『撤回』を後押し」(沖縄タイムス)する大会となりました。

開会前に、海勢頭豊バンドによる「月桃」「喜瀬武原」「辺野古旅情」で翁長知事を偲び、慰霊の日の追悼式で挨拶した翁長知事の肉声が会場に流れました。県民大会は知事への黙とうから始まり、知事の次男・雄治さんが知事最後の言葉「ウチナンチューが心を一つにして闘うとき、想像よりはるかに大きな力になる」を伝え、「翁長雄志に辺野古新基地建設が止められたという報告ができるよう頑張りましょう」と、翁長知事が被る予定のブルーの帽子を椅子に置き、葬儀に向かいました。あいさつでは、金秀グループの金秀興産・山城社長の「我々は絶対あきらめない。根負けするのは日本政府と米国だ」が注目されました。東清二琉球大学名誉教授、元沖縄防衛局・環境監視等委員会副委員長のメッセージでは「辺野古大浦湾の環境は優れています。防衛局は都合の悪いことは一切書かない」、「議事録がゆがめられている」と辞任した経過を述べ、厳しく批判しました。

あいさつの最後に、謝花副知事(知事職務代理者)から「翁長知事の強く熱い思いをしっかりと受け止め、毅然として判断する」と撤回に向けた決意を語りました。大会決議では「ジュゴンなどの生息環境を破壊する土砂投入計画の撤回」「超軟弱地盤のある建設計画の撤回」「辺野古新基地建設断念。普天間基地即時閉鎖。オスプレイ配備撤回」を決議しました。最後に、参加者はメッセージボード「辺野古新基地NO!」「県民はあきらめない!」を一斉に掲げ、大会決議の実現に向けて決意を新たにしました。(事務局 蛭川義章)



台風接近の雨の中7万人が参加 那覇市の奥武山陸上競技場

東 京

# 8.11首都圏大行動



8月11日、「埋めるな！辺野古 沖縄県民大会に呼応する8.11首都圏大行動」は、暑い日差しの中、3日前に急逝された故翁長知事の遺志を継ごうと前年の800人を大きく上回る2,800人が参加しました。はじめに故翁長知事に黙とうをささげ、沖縄謝花副知事挨拶の同時中継、沖縄環境ネットワーク花輪伸一世話人の挨拶、また知事の次男・雄治さんの「翁長雄志に辺野古新基地建設が止められたという報告ができるよう頑張りましょう」との言葉が紹介されると大きな拍手が起こりました。その後4班に分かれ池袋周辺をデモ行進し、基地建設反対を訴えました。最後に全員でシュプレヒコールをして基地は絶対に作らせないと決意新たにしました。(首都圏 小安美幸)

沖 縄

# 8.17海上行動



8月17日へり基地反対協主催の緊急海上大行動に、カヌー48名、抗議船5艇が参加。カヌーは護岸までパレード。故オナガ知事に黙祷を捧げ、海での集会は開始。護岸の前で、平和丸を中心にシュプレヒコール。風が強く、班ごとに寄り添うように停留しながら、プラカードを掲げ、全国から寄せられたバナーを広げました。それを撮影する沖縄防衛局監視船！「風で流されていますよ！制限区域外に出てください！」と執拗に連呼する嫌がらせもありました。

辺野古の浜での連帯集会には450人が結集。へり基地反対協幹事浦島さんの挨拶で集会は始まり、護岸に向かって全員でシュプレヒコールを叩きつけました。埋め立て承認撤回が決まった8月31日にも、海上集中行動が決定、カヌーでのアピール行動が展開されました。

(関西 岡村藤美)

## 名護市議選

# 辺野古建設反対が世論～名護市議選

「名護 与野党が同数」「反・新基地の野党1減」(沖縄タイムス1面)、「名護 辺野古反対過半～野党、中立、公明の15人」(琉球新報1面)。地元紙の見出しが名護市議選(定数1減の26人)の結果を端的に表現しています。9月30日沖縄県知事選挙の前哨戦として全国的に注目された名護市議選は、2月名護市長選挙の敗北を受けて厳しい戦いでした。政府は埋め立て土砂投入工事を推進するために、市議会選挙の過半数当選をもくろみ、17人の候補者を擁立。辺野古の闘いを担っている候補者らには対立候補をぶつけ、落選を狙いました。一方、市長選挙敗北の影響で野党候補14人は基地問題をめぐって統一ピラの発行が難航。「翁長知事の遺志を受け継いで」をキーワードに、告示日1週間前発行ができましたが、今後の課題も見えました。

争点は、市長派が辺野古新基地建設問題から逃げ、「9月1日からスタートした、基地再編交付金を活用した保育料と学校給食費無料化」の是非になりました。市長派は「無料化に反対する野党14人」と批判。野党候補は「基地再編交付金(2年間)に頼らない子育て制度の確立を」と反論。東恩納琢磨候補を支持する二見以北十区の会は独自ピラで、名護市東海岸での新基地建設の被害を訴えるとともに、基地再編交付金と

いう一時金では無料化制度は維持できないと反論しました。また、8月31日に沖縄県が埋め立て承認撤回したことも有利に働きました。

この名護市議選の結果でも、辺野古新基地建設反対の世論が多数であることが明らかとなりました。玉城デニー県知事候補は、まず辺野古ゲート前集会に参加。次に、野党14人の候補を激励し、県知事選挙の争点が「埋め立て承認撤回」であることを鮮明にしました。今後、野党議員13人が玉城デニー候補を応援し、名護市議会を辺野古埋め立て反対の発信基地にしたいと思います。私たちは、それを支える運動を強めます。

東恩納琢磨さんは定数26人中16位で、1019票でした。(事務局 蜷川義章)



市議選応援で手を振るデニーさん(左)と演説するたくま候補

## 逆風の中、たくま候補を支え戦い切ったSDCCと仲間たち

東海岸のたくま候補の同じ地盤・地域からいわゆる「刺客」と言うよりもたくま候補の票をかすめ取ることをのみを目的とした候補者が基地推進派から立てられるという非常に厳しい中で選挙戦はスタートした。

やはり、地盤での支持票が落ち込んでいるとの情報。そんな中、告示前、告示後を通じて我々SDCCとその仲間、延べ10人は名護市街地における西事務所を拠点として活動。

街宣車でのアナウンスの他、事務局長を補佐しつつ、危機感をもって市街地・新開地での新たな支持者、浮動票の獲得のための運動を組み立て進める。

告示前においては、「翁長知事の遺志を引き継ぐ14人」の統一チラシの配布。これにはわか町本部町の島ぐるみ会議メンバーの協力も。

選管や警察を使った、たくま候補の選挙活動に対する不公平かつ執拗な攻撃がある中、たくま候補の主張と存在を広げるため、「知事の遺志を受け継ごう!」たくま候補独自の手作りの幟を急きょ作成、「ふるさと宝」幟とともにたくまカラーのオレンジを印象付ける。

また、たくま候補が所属する「二見以北10区の会」発行の政策ピラを3000枚作成し、応援に駆けつけた郵政OBをはじめとした方々とポスティング。

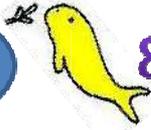


いわゆる投票前3日間攻防では、朝夕のスタンディング、最終日には道ジュネも。西事務所付近を地盤とする相手側候補者が「オレンジ部隊」と表現し、自らの地盤引き締め躍起になるほど。

西事務所を中心とした役割を果たすことができた選挙戦だったと言える。(中継 高垣喜三)

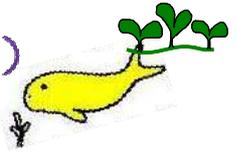


報告



# 8/19 NUCHI GUSUI (ぬちぐすい)

～映画「ZAN」上映&川口真由美ライブ～



辺野古や全国各地で、命どう宝をテーマに歌い続けている川口真由美さん。「ZANって映画いいね～。一緒に上映会やろうよ」と実現したイベントです。ぬち(いのち)ぐすい(くすり)は人や自然と触れ合ったときに、心と体が元気になること。そんなイベントにこの思いを込めたタイトルです。

映画ではジュゴンが棲む辺野古・大浦湾の圧倒的な美しさが余すことなく映し出されます。海勢頭豊代表、吉川秀樹国際担当、東恩納琢磨さん、浦島悦子さんたち、SDCCにゆかりのある方たちもたくさん登場！自然を守ろうとしている出演者皆さんの言葉が心に響きました。

月に一度は辺野古に行く真由美さん、はじめてゲート前に行ったときは、機動隊の排除が怖かったそうです。本土から行く自分が歌うことに複雑な思いを抱きながらも、絶対にあきらめないと歌い続ける真由美さんの姿に勇気をもらった方も多かったと思います。

参加者から「辺野古の闘いは、自然と命を守る闘いなんだとわかってよかった」「今まであまり関心なかったけど見方が変わった」とのうれしい感想もいただきました。映画の最後に「Take Action! 何か出来ることがあるはず」との呼びかけがあります。ジュゴンを守るための新しい一歩になればうれしいです。  
(関西 山根富貴子)

## NUCHI GUSUI

2回上映&ライブに計80名ほどの参加者が集いました

@大阪吹田の「モモの家」にて



## 出張授業で子どもたちにジュゴンのお話し



ジュゴンの棲む辺野古の海が埋め立てられようとしていること、沖縄のジュゴンが絶滅寸前ということを知っている人が知らない。関心を持つ人が増えることで状況を変えることができる！そう思って出張授業を続けています！

学童保育をしている会員のYさんの企画で、8月2日学習塾付児童ホーム「アルキメデス」へ行ってきました。「ジュゴンって何？早く教えて～」と興味津々の子どもたち。泳いだり、海草を食べたりするジュゴンの動画にあれやこれや大賑わい、クイズにも元気に応えてくれました。

沖縄の豆知識、ジュゴンの生態を紹介し、米軍基地のことを実感してほしくて、普天間第二小学校に米軍ヘリの窓枠が落ちてきたことを伝えました。「自分だったらどうする？」と聞かされると、「嫌やな、基地はいらん」と向き合ってくれました。

高学年の子が、配ったリーフレットを手に「これ先生や親に言うて、説得したらいいんやろ」と真剣な表情。理解して

興味津々で話しに聞き入ってくれた子供たち

出張授業に出かけました♪

くれたんだと励まされました。

この子たち、そして、未来の子どもたちが美しい海で泳ぐジュゴンに出会える地球でありますように。

(関西 池側恵美子)

※出張授業は様々な場に応じた内容を準備しています。ご依頼をお待ちしています



S

平安座の海のシチの語 - ~こらむ・コラム~

私が子供の頃、故郷の平安座島では、「島の海には、シチがいる」という不思議な話があった。それは、「海岸や干潟にいる人が、突然、海に向かって歩きだし、深みにはまって溺れることがあるが、それはシチのしわざである。もし、そのような人を見たら、大声で呼び止め、ひっぱたいて目を覚ましてあげなさい。もし、シチに出会ったときは、お前はシチだ、おれはハチだ、と言いなさい。そうすれば助かる」という意味不明の話であった。

それが、大人から子供まで語られ、まことしやかに伝えられていたのだが、シチが魔界のものか何なのか？、結局その正体は、分からずじまいであった。

学校が終わると子供たちは干潟で遊び、歩いて本島に渡る人もいた。遊びほうけたり、あるいは、干潟を渡る方向を間違えて深みにはまったり、溺れて死ぬ人がいた。そのための警告だったのか、シチの話は、常に、親

たちから子供に伝えられていたことを思い出す。

ところが、このシチが、硬骨文字の中の口を見て、それがジュゴンを表す最もシンプルな象形であったことが分かって、驚いた。

本土では口はセツと言い、節句や季節などの元であるが、しかし、南西諸島では、シチは豊年祭などを言う場合が多く、平和の神、航海安全の神、五穀豊穡の神である龍宮神ジュゴンの加護を祈る日を、特別に「シチ日」と言い、神行事を行うのであった。

驚いたことに、この硬骨文字の口は、中に点の目を入れ巴の字に進化するのだが、このような象形文字・表意文字を考え出した民族は、おそらく、南西諸島の奴人しかいないということになる。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

わんさか通信 ★ ジュゴンのわ

〇〇の秋

あっ、という間に今年も残り三ヶ月、もう秋です。

スポーツの秋、島では運動会シーズン到来、地域の小・中・高校では日程が重ならないように一週間づつずらして開催します。職場の同僚のお母さんは「毎週お弁当作りだよー、何つくろう」とお悩み中。

おじい、おばあー同集まるそうで、親子三代リレーという種目もあるそうですよ。

私が驚いたのは、お弁当に「そうめん」は定番で、暑いから食べやすくして評判が良いのだと。流しそうめんな訳はなく普通に茹でた麺を詰めていくそうだ、なるほど！その手があったか。暦の上では秋と言っても沖縄はまだまだ日中は30℃近く暑いですからね。

食欲の秋、芸術の秋、安室ちゃんが引退した秋・・・色々な秋がありますが、「選挙の秋」でしょうか。県知事選挙の入場券が届きました。

この一票がどうか届きますように！！

「バンザ〜イの秋♪」にしたい、想いを繋げたいのです。

(沖縄・小平)



翁長知事（当時）から  
県民栄誉賞を受け取る  
安室奈美恵さん  
（宮古毎日より）



## <首都圏>

- ・10/13(土)命どう宝団結まつり前夜祭 18:00～20:30  
場所:大田区入新井集会室(Luz 大森4階)  
ゲスト:北上田毅さん(沖縄平和和市民連絡会)  
キム・ヨンジェさん(韓国星州ソソリより)
- ・10/14(日)命どう宝団結まつり 11:00～15:00  
場所:江東区・亀戸中央公園A地区

## 《 今後のスケジュール 》

- ・10/20(土)とめよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和  
2018 関西のつどい エル大阪 13:30～ 資料代 500円
- ・10/25(木)じゅごん茶話会 14:00-16:00 SDCC 関西事務所
- ・11/4(日)大阪団結まつり 11:00-16:00 扇町公園
- ・11/17-18(土日)大阪自然史フェスティバル 9:30-16:30  
大阪自然史博物館(長居公園) 入場無料

## <関西>

# 大 阪

## STOP! 辺野古新基地建設! 大阪アクション



8/11 県民大会同時アクションとして梅田をデモ行進しました。  
「翁長知事の遺志を継ごう！」の横断幕も  
Photo Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション



8/26 Stop! 辺野古新基地建設! 4周年記念集会  
参加者 250名で会場がいっぱいに。山城ヒロジさんのお話と  
川口真由美さんの歌に元気づけられました。

## 12.1 ジュゴン訴訟報告集会

日時12月1日(土) 午後6時～8時半

会場:大田区入新井集会室(JR大森東口徒歩3分)

海勢頭豊代表から沖縄の情勢、吉川秀樹国際担当からジュゴン訴訟公差し戻し審の報告と今後の方針についてお話しします。予約は不要です。皆さまのご参加お待ちしております。

## 東 京

### Editor's Note

ちゃんぷるニュースは、今号で Vol.100 となりました! 2001年のSDCC設立当初からをお届けしてきた会報ですが、2002年に名称を「ちゃんぷるニュース」とし、Vol.1を発行。以来2カ月に一度のペースで、発行してきました。辺野古の情勢とSDCCの活動、方針をわかりやすく、楽しく読んでいただけるようにと編集作業をがんばっています。これからも「基地ではなくジュゴン保護区を!」めざして力を合わせて、前へ進みましょう。これからもよろしくお願いたします。(山根)

## 名護市議選派遣カンパありがとうございました!

カンパは、首都圏、関西からスタッフ5名を派遣する費用に使わせていただきました。選挙では東恩納琢磨さんはじめ、基地建設反対派の13名が当選、市議会の過半数を確保しました。SDCCスタッフの奮闘ぶりは5面記事をご参照ください。

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.100 2018年9月25日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野ロビル302  
TEL/FAX 06-6353-0514

### 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:  
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター  
口座番号 00140-9-660199  
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店  
口座番号 普通 8159084

\*ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*  
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!